

養護老人ホーム 母 来 寮

1 基本方針

利用者の尊厳を大切に、安全で安心できる良質な福祉サービスの提供に努め、自立した生活を支援する。

また、地域に開かれた福祉施設として、地域の中で連携・交流に努め、皆様に活用される施設を目指す。

2 今年度重点事業目標

(1) 安全で安心できる良質な福祉サービスの提供

ア 利用者の方の意志や人格を尊重し、集団生活の中でも幅広い選択肢を提供できる環境を整える。

イ 常に利用者の方の立場に立って支援を行い、個別対応に取組み、生活の質の向上に努める。また、新型コロナウイルスなどの感染症対策を講じる。

ウ 自立支援に視点をおいたプランの作成と、多様で複雑な個別ニーズに適切に対応するため、総務・事務、生活相談、介護・支援、医務・看護、栄養・調理の各部署の職員による多職種連携でサービスの提供を行う。

エ 利用者の方それぞれに応じて、自立した日常生活を営むことができるようにするため、機能訓練の実施などにより機能の維持と向上を図り、介護予防に努める。

オ 介護を必要とされる利用者の方には、適切な介護サービスを提供し、要介護状態が変更となる場合には、状況に応じて、より相応しい施設へ移ることができるよう、利用者の方や家族の方に対して支援を行う。

(2) 地域との連携及び交流の促進

ア 地域の福祉ニーズを把握し、社会資源としての専門的技術や施設機能の提供を行い、地域貢献を図る。

イ 地域の行事や活動に関する情報を利用者の方に提供し、地域の一員として積極的に参加することを支援するとともに、地域の方が、施設に親しみを感じることができる交流などを行うことに努める。

ウ さらに、地域の教育機関や福祉団体などとの交流や連携を行い、ボランティアの方を感染症対策を講じながら受け入れることなどにより、地域社会との関係づくりを進める。

(3) 経営効率化への取組

ア 市町村、関係機関等へ施設の利用状況や入所者の生活状況等の情報提供を随時行い、養護老人ホームとして適切に機能を果たすため、時宜を得た入退所を行うことに努める。

イ 養護老人ホーム入所年間稼働率92%以上、特定施設入居者生活介護年間稼働率80%以上、生活管理短期宿泊事業年間稼働率10%以上を、それぞれ目指す。

(4) 人材の育成

ア 職員の人権意識の向上に努め、専門性を活かした支援に必要な知識やスキルを取得させるため、個人の研修計画を立て、施設内研修を行い、職員の資質向上とコンプライアンスによる健全で透明な組織運営を図る。

イ メンタルヘルスに関する研修等を通して、職員の心身の健康維持に努める。

ウ 資格取得に向けた情報提供を行い、職員の積極的な資格取得の推進に取り組む。